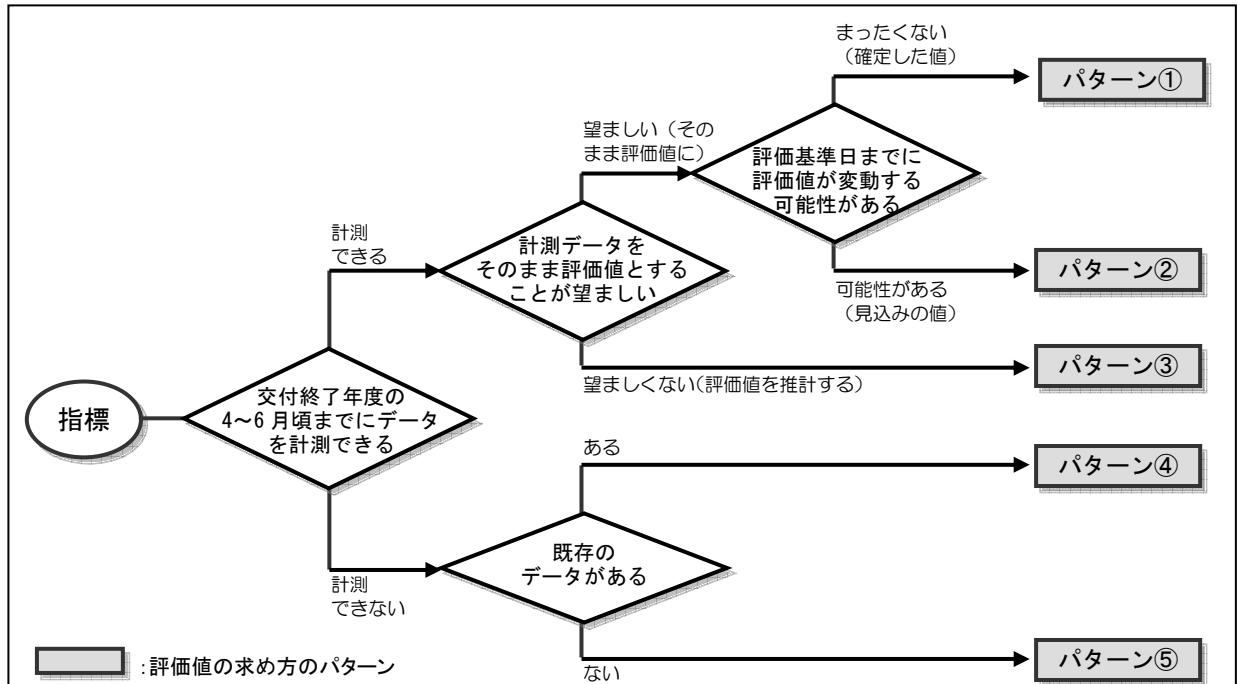


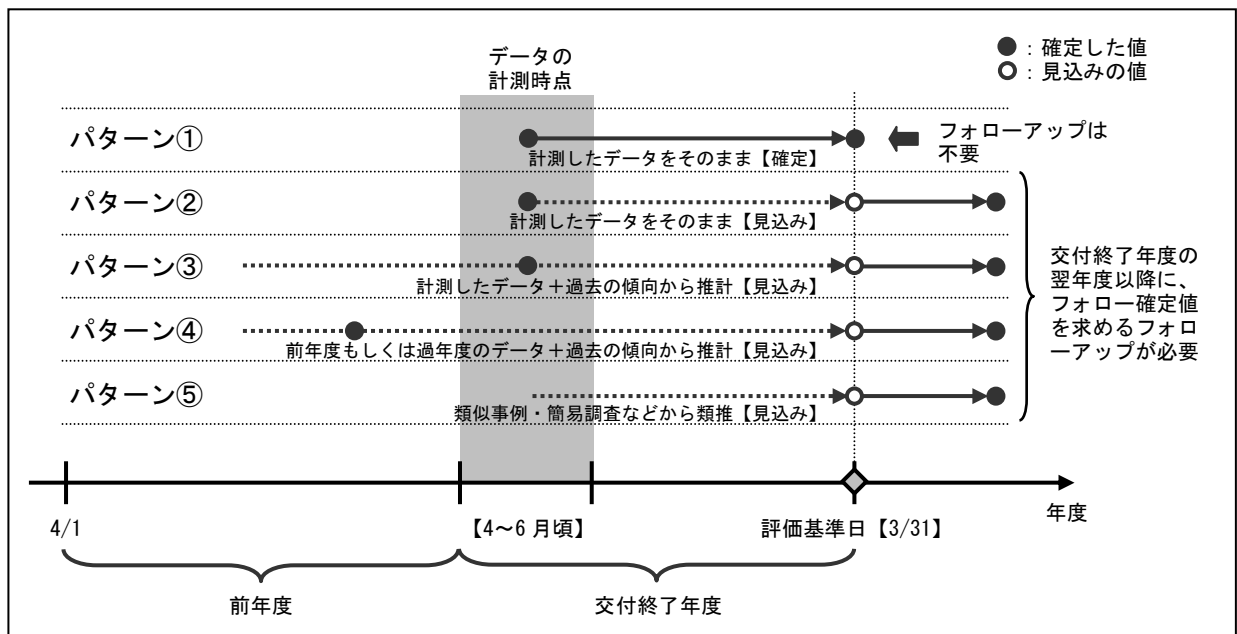
3) 評価値の求め方

○指標の性質・特徴に応じた評価値の求め方のパターンと確定／見込みの別



パターン	評価値の求め方	確定／見込みの別
①	4～6月頃までに計測したデータを、そのまま評価基準日【3/31】における評価値（確定した値）とする	確定
②	4～6月頃までに計測したデータを、そのまま評価基準日【3/31】における評価値（見込みの値）とする	見込み
③	4～6月頃までに計測したデータおよび過去の傾向などを基に、評価基準日【3/31】の評価値を推計する	見込み
④	前年度もしくは過年度の統計データに毎年の統計を加味するなどして、評価基準日【3/31】の評価値を推計する	見込み
⑤	類似事例・簡易調査などから、評価基準日【3/31】の評価値を類推する	見込み

○評価値の求め方のパターン<時系列での整理>



○評価値の求め方の例

パターン	指標例	評価値の求め方の例
①	新規イベントの参加者数	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日～3日、新規にまちづくりイベントを実施し、その参加者数を計測した。 新たなイベントのため過去のデータがなく、評価基準日【3/31】の評価値の推計が難しいことから、計測したデータをそのまま評価値とする。 なお、計測時点では事業が完了しており、計測した値が評価基準日【3/31】においても変動する可能性がまったくないため、確定した評価値とする。
②	緑被率	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年5月1日に航空写真を撮影し、データを計測したが、計測時点では関連事業が完了しておらず、効果が十分に発現しているとはいえない また、本方法書作成前に計測した値が、評価基準日【平成23年3月31日】において変動する可能性があることから、計測したデータをそのまま評価値（見込みの値）とする
③	居住人口	<ul style="list-style-type: none"> 5月の住民基本台帳人口移動報告のデータと過去の傾向から、評価基準日【3/31】の居住人口を推計し、評価値とする。
④	観光入込客数	<ul style="list-style-type: none"> 対象地区の観光入込客数は毎年10月1日に公表されており、4～6月にデータを計測することが困難なため、交付終了年度の前年度10月1日時点での観光入込客数と過去の傾向から、評価基準日【3/31】の観光入込客数を推計し、評価値とする。
⑤-1	新規施設の入場者数	<ul style="list-style-type: none"> 新規施設のため過去のデータがなく、また計測時点では施設が未完成で供用されていないため、4～6月にデータを計測することができない。よって、市内の別の類似施設の入場者数を基に、評価基準日【3/31】の入場者数を類推し、その値を評価値とする。
⑤-2	駅前広場に対する住民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 満足度調査は都市再生整備計画作成時に実施したのみで過去のデータがなく、また計測時点では整備が完了していないため、4～6月に満足度を計測することができない。 よって、計測時点では簡易的なヒアリング調査を実施し、その結果を評価基準日【3/31】の評価値（見込みの値）とする。

1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

◆都市再生整備計画に掲げたすべての数値目標について、各評価段階（事後評価時、フォローアップ時）の計測方法を設定する。

※上記の設定にあたって、「都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況」の目的や内容を確認する場合には、「事後評価シート作成の手引き」P.12～13を参照のこと。

●指標名

都市再生整備計画の様式「都市再生整備計画の目標及び計画期間」／「目標を定量化する指標」より指標名を転記する。

●A. 事前評価時の『従前値』の求め方

①従前値の基準時点	当該指標の『従前値』の基準となる時点（値の公表された時点、値を求めた時点、統計値の確定時点など）を、年月とともに記入する。
②実施主体	当該指標の『従前値』を求めた主体の部署名を記入する。
③求め方	当該指標の『従前値』を求めた手法を記入する。計測した場合は、計測した箇所数、実査の対象、実査の手順、引用した社会統計データの名称や出典等を明記する。独自の手法を採用した場合は、当該手法が誰によって実施されても同じ結果を得られるよう、詳しい計算内容（データ名・出典、計算手順、準拠資料等）を記入する。

●B. 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④時 期	当該指標のデータを計測する時期（年月）を記入する。
⑤実施主体	当該指標のデータを計測する主体の部署名を記入する。
⑥データの計測手法	当該指標のデータを計測する手法を、上記A. ③と同じ要領で記入する。事前評価時と異なる計測手法を用いる場合は、異なる理由（上記A. ③の手法を使用できない客観的かつ合理的な理由）を、データ名等を挙げながら具体的に記入する。
⑦評価値の求め方	評価基準日（交付期間の最終日）における『評価値』の求め方を記入する。記入にあたっては、計測・類推の種別のほか、方法の内容、参照するデータ等の出典、事業の進捗状況等を具体的に記述する。なお、評価値を求めるにあたっては、実態を伴わない過度な推計を行わないよう留意することが必要である。
⑧確定／見込みの別	当該指標の評価値の確定／見込みの別を記入する。

●C. フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑧フォローアップの必要性	あり／なしのいずれかを選択する。
⑨時 期	当該指標の『確定値』を計測する時期（年月）を記入する。
⑩実施主体	当該指標の『確定値』を計測する主体の部署名を記入する。
⑪求め方	当該指標の『確定値』を計測する手法を、上記B. ⑥と同じ要領で記入する。